



広島市立安佐市民病院広報紙

—第25号—

〒731-0293 広島市安佐北区可部南二丁目1-1

TEL : 082-815-5211 (代)

<http://www.asa-hosp.city.hiroshima.jp>

**4月1日より
地域がん診療連携拠点病院に
指定されました**



広島市立
安佐市民病院
病院長
多幾山 渉

平成13年度、厚生省の「第3次対がん10年総合戦略」の中で、がん医療の全国的な均てん化のため、地域がん診療拠点病院が設けられ、平成14年度から各県の推薦を受けた全国の医療機関を対象に指定が始められました。平成18年には要件の改訂が行われ、名称に「連携」が挿入され、都道府県に一カ所程度の都道府県がん診療連携拠点病院と、さらに各二次医療圏毎に地域がん診療連携拠点病院が設けられることとなりました。

平成18年3月、取り組みが遅れていた広島県もがん診療連携拠点病院の募集によりやく踏み切りました。安佐市民病院にとって、地域のがん診療は重要な課題の一つで、地域のがん患者さんが当院で安心して最新のがん治療を受けられるためにはこの拠点病院になる必要があると考え、地域がん診療拠点病院の整備が決まった時点から、院内がん登録の導入等、指定に向けた様々な準備を行い、県に応募いたしました。しかし、募集要項の中には「二次医療圏に1施設程度指定する」とされており、残念ながら平成18年5月には県からの推薦に漏れてしまいました。その理由は、広島二次医療圏には広島市中心部に老舗の大病院が4カ所あり、この老舗と病院すべてを優先する広島県の作戦の中で、同じ二次医療圏の当

院が推薦から外されたものと思われます。それ以来、当院では再チャレンジすべく、推薦から漏れた原因を検討し、改善目標を作成し、着々と準備を行って参りました。今回の募集においても、二次医療圏に一カ所程度指定するとされていましたが、当院が広島二次医療圏の中でも、旧市内の病院群と日常の医療圏が異なること、さらに二次医療圏を超えて広く県の北部や島根県まで広範な診療圏を持っていること、また、多くのがん患者さんの診療を日常的に行っていること等が評価され、4施設が指定されている広島二次医療圏に、さらにもう一つがん診療連携拠点病院を増やすことの意味が理解されました。平成22年2月3日、「第6回がん診療連携拠点病院の指定に関する検討会」において、平成22年度がん診療連携拠点病院として当院は新規指定を受けることができました。丁度その日、当院は病院機能評価の審査中であり、審査員からもお祝いの言葉をいただくことができました。

4月1日から、「地域がん診療連携拠点病院」として地域のがん患者さんの診療に当たっておりますが、見た目には今までと全く変わることはありません。今まで行ってきたがん治療を今後も粛々と遂行しながら、足りないところや弱点を補強改善し、より質の高い信頼されるがん診療を提供してまいります。さらに「地域がん診療連携拠点病院」の名の通り、地域の医療機関と緊密な連携体制を維持し、地域医療の中核病院として、診断、治療、終末期医療等、トータルながん医療体系を構築してまいります。

地域の皆さまの誇りに思っていただけ病院を目指して、職員一同、尚一層努力を重ねて参る所存でございます。

安佐市民病院は
病院機能評価認定病院です。



安佐市民病院の
理念と基本方針

理 念

- ・愛と誠の精神をもって医療を提供します。
- ・地域の基幹病院として高度の医療とケアを行います。

基本方針

1. 患者さまの立場を尊重し、理解と納得 にもとづいた医療を行います。
2. 安全な医療と快適な療養環境の提供に努めます。
3. 地域と連携し、地域医療、救急医療、トータルケアの水準の向上に努めます。
4. 最新の医療にとりくみ、医療・医学の進歩に貢献します。
5. より良い医療サービス提供のため、健全な病院運営に努めます。

がん診療における薬剤師の役割

当院薬剤部には、「がん指導薬剤師」（「がん専門薬剤師」を養成する研修制度の指導者）が2名在籍しており、がん専門薬剤師研修施設の認定を受けております。常に新しい治療の研修を行い、患者様により効果的で安全な治療が提供できるよう努力しています。

「がん専門薬剤師」の大きな役割の一つとしてはレジメン（がん薬物療法における抗がん剤、輸液、副作用を防いだり和らげる治療薬を組み合わせた時系列的な治療計画）の管理があります。病院にはレジメンを審査・承認する委員会があり、医師・薬剤師・看護師で構成されています。その事務局を「がん専門薬剤師」が担っています。

また、資格を持った「がん専門薬剤師」はがん薬物療法が安全で正確に実施できるよう医師が処方した注射薬や内服薬をチェックし、治療効果のある抗がん剤なのか、投与量・投与間隔は正しいのか、投与方法は正しいのかなどを監査しています。

抗がん剤の注射薬は無菌室にて無菌的操作により薬剤師が調製を行っています。その際には、抗がん剤監査システムを取り入れており、調剤過誤のないよう努めております。

病棟や外来化学療法室では、がん患者様に薬学的なフォロー（投与スケジュールと副作用の説明、副作用の観

察・対策の提案など）を行っています。さらに病棟や外来には担当薬剤師がいますので、薬の事で分からないことなどがあれば、気軽に質問して頂ければと思います。

今後もより一層がん患者様のがん薬物療法の有効性と安全性を確保出来るよう、またその為の情報提供ができるよう努力してまいります。



薬剤部 がん専門薬剤師

柳田 祐子

北本 真一

がん患者さんに対する専門認定看護師のサポート

がん化学療法看護認定看護師の役割には、最新の専門知識、技術を用いて抗がん剤の安全な投与、管理、副作用対策を行うこと。患者さまやご家族が病気や治療内容を理解され、納得の上で治療に臨め、その人らしい生活が送って頂けるよう意思決定や心理・社会的な支援をしていくことなどがあります。

「がん」という病名が与えるイメージから、大きな悲しみや不安、苦痛を抱きながら治療に臨んでおられる患者さまやご家族は多いと思います。治療を行う中で、それ以上の悲しみや身体的・精神的苦痛を受けることなく、軽減していけるような看護を提供していくよう努めています。また、医師、薬剤師、歯科衛生士、管理栄養士、検査技師とチームを作り、化学療法を受けている患者さまをあらゆる面からサポートし、少しでも安楽に治療を受けて頂けるよう副作用対策などの院内標準を作成しています。

その他に、看護師への指導や相談を受けることも役割の一つとなっています。近年、化学療法は新薬の開発が著しく進歩しています。最新の知識や情報を提供していけるよう関連の学会や研究会に積極的に参加し自己研鑽に努めています。

これからも患者さまやご家族から信頼され、安心して治療に専念していただけるよう、頑張っていきたいと思います。



がん化学療法
看護認定看護師
佐々木 恵子



私たちががん患者さんの診療・治療を支援しています

新しい放射線治療装置の御紹介

食事や生活環境の向上に伴って、平均年齢も伸び長寿大国 日本と呼ばれている反面、がんによる死亡は3人に1人と言われており早期発見、早期治療が重要になっています。

がん治療における放射線治療の評価は、頭頸部領域に関しては手術の必要が無いと言われていますが、手術に比べ体の負担が少ない事や普通の日常生活が可能で、自宅から通院出来る事から患者様に優しい治療方法としてマスコミや公開講座等で市民に紹介さ



れています。

放射線治療の対象部位は全身に及びますが、全てのがんが放射線治療だけで直るわけではなく、担当医と放射線治療医が話し合っ、手術、放射線治療、抗がん剤治療等について最適な治療方法を決定します。

安佐市民病院においては装置の更新により、SIEMENS社製の放射線治療装置ONCORが平成21年3月より移動していますが、精度向上の為に改修工事を行い12月下旬から再稼働を始めましたので、今迄以上に正常組織を保護し、がん組織だけを集中して治療する事が出来ます。この事は、最近マスコミでも取り上げられているIMRT（強度変調放射線治療）等のような難易度の高い治療方法が可能となり、患者様にはより精度が高く安全な放射線治療を提供する事が出来ます。



放射線科 放射線技師
山本 茂樹

がん拠点病院 栄養室の取り組み

栄養室 管理栄養士 春貝地 明子



がん治療における栄養管理は、化学療法に伴う副作用や術後の合併症への対策だけでなく、治療効果を高めるという観点からも非常に重要です。がん患者さんにみられる栄養の問題として、①すぐに満腹感が生じ、少量しか食事がとれない、②味覚や臭覚が変り、食欲が減退する、③肉・魚類が食べたくなる、④吐き気がおこりやすい、などがあります。栄養室ではお食事の工夫として、通常よりも少量盛り付けた「ハーフ食」や、口内炎ができた場合に、酸味が強い果物などは避け、味を薄めにするなどの工夫をした「無刺激食」など提供しています。また、味覚や臭覚の変化への対応として、温かい料理ほどにおいがきつく感じられることから、お食事を冷ましてお出しすることもあります。好き嫌いも含めた個人差が非常に大きいため、「ハーフ選択食」として、ラーメン、お好み焼、冷しそうめん、散らし寿司などもお好みで選んでいただけます。

患者さんが十分な治療を受けられ、治療後も栄養状態を良好に保っていただくことが大切です。当院のNST（栄養サポートチーム）では、医療スタッフが共同して患者さんの栄養状態の評価と管理をおこなっています。また、栄養摂取の重要性を患者さんに理解してもらうことも大切です。管理栄養士は、術後の食事についての栄養相談もおこなっています。

食事は心を満たすもの。精神的にも辛い思いをされているがん患者さんに、食事で心を支えQOLの向上に貢献していきたいと考えています。



薬剤部からのお知らせ

＝薬袋を大切にし、記載の内容にご注意を！！＝

皆さんが薬局や病院からお薬をもらうときには薬は薬の袋に入った状態でもらいます。その薬の袋にはお薬を正しく服用するための説明や注意事項が記載されています。病院や保険調剤薬局でもらった薬はこの薬袋に入れたまま保管し、記載の内容に従って正しく服用する事が重要です。

以下に安佐市民病院の薬袋を例に、記載されている内容について説明いたします。

The diagram illustrates four types of medication bags with corresponding explanations:

- Top Left Bag:**
 - Callout 1: Points to the top section where the name of the medicine in the bag is written.
 - Callout 2: Points to the patient's medical record number and name, which are recorded for identification.
 - Callout 3: Points to the dosage instructions, such as '1日3回 夕食後' (3 times a day after dinner) and '1回1包' (1 packet per time).
 - Callout 4: Points to the number of packets to be taken per day and per time.
- Top Right Bag:**
 - Callout 1: Points to the top section where the name of the medicine in the bag is written.
 - Callout 2: Points to the patient's medical record number and name, which are recorded for identification.
 - Callout 3: Points to the dosage instructions, such as '1日2回 朝食後' (2 times a day after breakfast) and '1回1包 (1回各1包に開)' (1 packet per time, 1 packet each time).
 - Callout 4: Points to the number of packets to be taken per day and per time.
- Bottom Left Bag:**
 - Callout 1: Points to the top section where the number for receiving the medicine is written, used for inquiries.
 - Callout 2: Points to the dosage instructions, such as '1日2回 朝食後' (2 times a day after breakfast) and '1回1包' (1 packet per time).
 - Callout 3: Points to the dosage instructions, such as '1日2回 朝食後' (2 times a day after breakfast) and '1回1包' (1 packet per time).
- Bottom Right Bag:**
 - Callout 1: Points to the top section where the number for receiving the medicine is written, used for inquiries.
 - Callout 2: Points to the dosage instructions, such as '1日2回 朝食後' (2 times a day after breakfast) and '1回1包' (1 packet per time).
 - Callout 3: Points to the dosage instructions, such as '1日2回 朝食後' (2 times a day after breakfast) and '1回1包' (1 packet per time).

Additional explanations for the bottom row of bags:

- Bottom Left Bag:**
 - Callout 1: Points to the '外用薬' (Topical medicine) label, indicating that it is not for oral use.
 - Callout 2: Points to the '外用薬' label, indicating that the type and usage of the medicine are recorded (the instruction book is also enclosed).
 - Callout 3: Points to the '外用薬' label, indicating that the handling precautions are also recorded.
 - Callout 4: Points to the bottom section where the hospital's phone number is provided for inquiries.
- Bottom Right Bag:**
 - Callout 1: Points to the '外用薬' label, indicating that it is not for oral use.
 - Callout 2: Points to the '外用薬' label, indicating that the type and usage of the medicine are recorded (the instruction book is also enclosed).
 - Callout 3: Points to the '外用薬' label, indicating that the handling precautions are also recorded.
 - Callout 4: Points to the bottom section where the hospital's phone number is provided for inquiries.

■ 患者の権利 ■

広島市立安佐市民病院は、患者の権利に関する「リスボン宣言」を擁護し、患者の最善の利益のために安全で質の高い医療を目指します。

1. 良質の医療を受ける権利

良質で適切な医療を公平に受ける権利があります。

2. 情報を知る権利

ご自身の病状や治療等に関して十分な説明と情報を得る権利があります。

3. 自己決定の権利

ご自身の健康状態について十分な説明を受け、ご自身の自由な意思で検査や治療方法を選ぶ権利があります。

4. 選択の自由の権利

病院あるいは保健サービス施設等を自由に選択し、変更する権利があります。

セカンド・オピニオン（別の医師の意見を求める権利）を求める権利があります。

5. 健康教育を受ける権利

健康なライフスタイルや、疾病の予防および早期発見等に関する情報を与えられた上で自己選択（インフォームド・チョイス）できる権利があります。

6. 個人情報・プライバシーが守られる権利

医療従事者が医療上知り得た個人情報保護され、プライバシーが守られる権利があります。

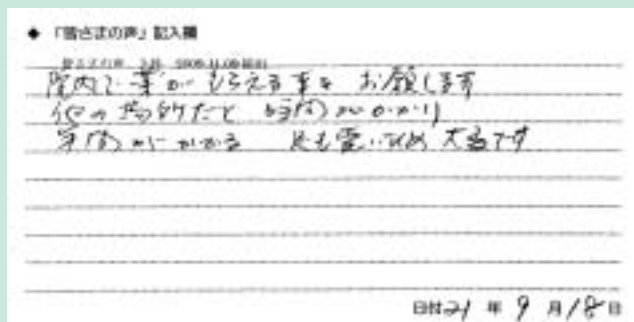
7. 尊厳が守られる権利

個人として尊重され、尊厳を保ち安楽に終末期を迎えるためのあらゆる可能な支援を受ける権利があります。

■ お願い ■

当院で安全で質の高い医療・看護が適切に受けられるためご協力をお願いします。

- ・ご自身の健康に関する情報をできる限り正確に伝え、医療従事者と共同して診療に参加してください。
- ・快適な療養環境の維持に協力をお願いします。
- ・医療安全の実践に協力をお願いします。
- ・病院の規則を守ってください。
- ・他の患者の療養に支障を与えないように配慮をお願いします。
- ・医療人の育成に協力をお願いします。
- ・現在考えられる安全な臨床医学の範囲を超える要求には応じられないことをご承知ください。



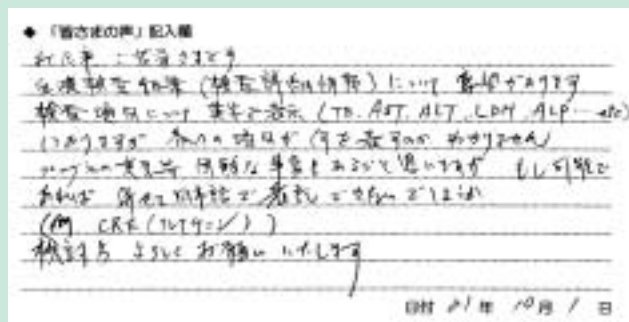
ご意見に対する対応

外来の患者様にはご自宅の近隣もしくはご都合の良いところへ「かかりつけ薬局」を設定していただき、全ての医療機関からの処方箋をそのかかりつけ薬局に提出して薬剤を交付していただくということが啓蒙されております。これは複数の医療機関から交付されるお薬同士の飲み合わせによる薬害を防止したり、患者様お一人お一人に配慮したお薬相談を行い、服薬についての支援をさせていただくという観点からです。

一方、病院内の薬剤師は入院患者様に対して同様の業務を行うことが推進されており、かかりつけ薬局では対応できない特殊な薬物療法を必要とする患者様には院内処方とさせていただきますが、その他の外来患者様には院外処方という形でご協力をお願いしております。ぜひご自宅の近くなどご都合の良い所にかかりつけの薬局をお持ち下さることをお勧めいたします。

尚、お薬の内容のことでお聞きになりたいことやお困りの点があれば薬剤師にお気軽にお声をお掛け下さい。

薬剤部 主任部長 長崎 信浩



ご意見に対する対応

検査項目の、日本語での併記を望まれておられる件についてお答えします。

患者様に差し上げた「検査詳細情報」は、基本的に電子カルテでの使用を目的にしているため、決められた病院職員しか閲覧できません。よって検査項目は略号での運用となっております。

「検査詳細情報」の手直しは、電子カルテを変更しなければならず大変な経費を要するため直ちに變更することが出来ません。次回、電子カルテそのものを変更する機会に、患者様用に配布する報告書の書式を検討したいと思っております。

臨床検査部 技師長 久保 敬司

第7回

健康祭り

日時: 6月5日(土)午前10時～午後2時まで

場所: 安佐市民病院北館2階 WAPセンター

地域の皆さまと共に

健康チェックと健康よろず相談
新鮮野菜市
楽しいゲーム
バザー その他盛りだくさん

スタンプラリーで
景品をゲット



このポスターは島本アトリエの絵画グループの木村茂子さん、向井好子さん、中俣紘子さん、畑中幸子さん、岡太恵千子さん、新谷喜子さんによる共同制作です。

今年もやります、
健康祭り!

健康スタンプラリーで景品をゲット、
地域の皆さまと楽しい一日になりますように・・・